

[最近のトピックス]

ハンガー反射は歯科臨床への応用が可能か？

廣瀬 知二

伊東歯科口腔病院 訪問診療部

ハンガー反射とは、針金製のハンガーを頭にかぶり、ハンガーの長辺が前側頭部を圧迫するようにすると、頭が自然に回ってしまう現象である（図1）(Asahi et al., 2020). 正方形のダンボールを頭にかぶることで頭が回り、頸部ジストニアの症状が改善されたとの報告もあり(Christensen, 1991), これらは同様の現象と考えられる。

ハンガー反射は健常人にみられる一般的な反応であり、その機序として皮膚のせん断力が関係していると考えられている。ハンガーをかぶることにより、前側頭部の皮膚が側頭線の部分で外側にずれて摩擦力で止まる。そのため、ずれている方向に頭を回して不快感を解消したくなるが、頭を少し回しても皮膚がずれ続けているので頭が回ってしまう。同様の原理で、ハンガー反射は頭部の回旋だけではなく、前後屈にも起こることが報告されている。ハンガー反射を真の反射と呼べるのか否かは検討の余地があるが、現在、ハンガー反射を誘発する装置が販売され、頸部ジストニアの治療が試みられている（図2）。

歯科訪問診療では、頸部ジストニアにより頭部が回旋や前屈・後屈・側屈する患者に遭遇する（廣瀬, 2023）。それらの患者の歯科治療は誤嚥リスクが高く、困難となるケースが多い。頸部ジストニア患者に対して、ハンガー反射を利用して、正しい姿勢で歯科治療を受診してもらうことで、より安全な歯科医療提供につながる可能性がある。

文献

Asahi T, Nakamura T, Sato, M, Kon Y, Kajimoto H & Sato S. The Hanger Reflex : An Inexpensive and Non-invasive Therapeutic Modality for Dystonia and Neurological Disorders. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 60 : 525-530, 2020.

Christensen JE. New treatment of spasmodic torticollis? *Lancet* 338 : 573, 1991.

廣瀬知二. 口腔から全身が見える！⑨ジストニア. アポロニア21 358 : 22-25, 2023.



図1：ハンガー反射

針金製のハンガーを少し広げて、針金の長辺が前側頭部を圧迫するようにすると、圧迫側へ頭が自然と回る。



図2：ラクビ（株式会社TSSヘルスケア、東京）

ハンガー反射を誘発する装置。前後屈用も開発されている。